

これだけは
押さえて
おきたい

オフィスが変わると社員が変わる？ 「ここままでいいわね」、「すぐ「できるー！」

IT活用最前線

IPネットワーク



「忙しい、忙しい」。社員は皆、一生懸命仕事をしている。しかし売上は伸び悩み気味。社員の人数を増やす前に、業務時間の使い方を改善すべきと思うが、どこから手をつければ良いかピンとこない

「こんな「もやもや」を抱えている企業も多いのではないだろうか。要因は一つに特定できるものではないが、モノやサービスをつくり出し、販売し、利益を生むのがいかに発揮されるかにかかっている。そのため体制が整っていないかどうか今一度点検しておきたい。観点は大きく3つある。

1書類探しや電話の代理対応など、付加価値を生まない仕事に忙殺されていないか

業務効率化、生産性の向上

2社内の情報やノウハウ、知恵を社員が有効に活用できるか

ナレッジの共有による付加価値創造、スピード化

3企画力や創造力を高められる場や仕組みがあるか

発想を豊かにできるコミュニケーション環境

これらをトータルで実現する方法の一つに、オフィス環境の見直しがある。

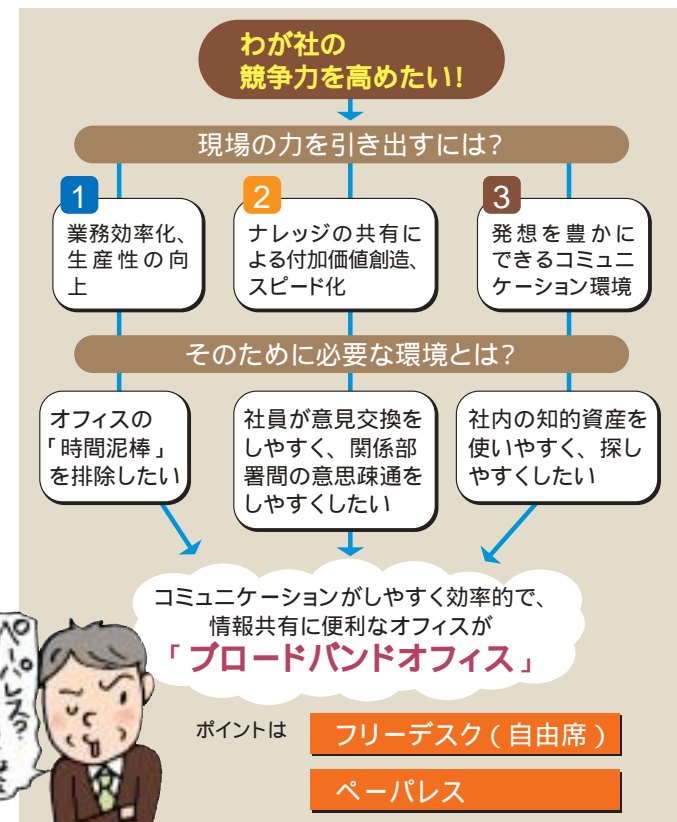
オフィスは 何のための場所か

改めてオフィスを見渡してみよう。部署ごとに固まって座っているから、隣はいつも同じ人。一つの仕事を仕上げるには隣の席以外の人はもちろん他部署との情報共有も大切だが、上司や機の配列が他部署との見えないバリアを作り出し、社内の知恵を有効活用する障壁になっている。

また、気軽に打合せするスペースはないのに外出中の社員の机はいくつも空いており、おまけに山のような書類がオフィスのスペースを占有している。

オフィスは社員が仕事をして成果を出すための場であるにもかかわらず、その目的を達成するために有効活用されているとは言い難い。

企業のこのような課題を視野に入れ、イーやネットワークの技術を取り入れた新しいオフィ



座席を自由にする 打合せが活発になる

公開されているオフィスフロアでは、3つ組み合わせると円形に配置できる120度角の机がうまく活用されている。仕事に集中しやすい一方、話したいときは周囲の人に声をかけたり、気軽に打合せができる作りだ。

席はなんと「自由席」。「固定席」はなく、出社後ロッカーからノートパソコンと書類箱を出して好き

ス作りが、今、脚光を浴びている。NECが提案する「ブロードバンドオフィス」はその先鋒だ。

NECでは自ら新しいオフィススタイルを導入して効果を実証し、また「NECブロードバンドソリューションセンター」としてその様子を公開している(法人対象、見学は予約制)。同関西センターでは、企業向けブロードバンドソリューションを取り扱う営業・SE部隊60名ほどが利用中のオフィスフロアを見学できる。

